

他市の新財源の使途について

—第2回 新たな財源検討委員会資料—

【別府市の事例】	・・・・・・・・・・・・・・・・2~3
【京都市の事例】	・・・・・・・・・・・・・・・・4~5
【太宰府市の事例】	・・・・・・・・・・・・・・・・6~7

【別府市の事例】

（「入湯税引上げ部分の使途に関する提言」別府のみらい検討会議より）

2 使途について

「入湯税引上げに関する提言」では、入湯税引上げによる税収の使途は明確にすべきであるという論点を中心に協議を行い、具体的な使途については行政と観光事業者等の観光分野に明るいメンバーによる公民一体の新しい組織で観光施策に関する有効活用について協議することが重要であるとした。また、引上げ部分の使途としてふさわしくない事業についても協議する必要があることを意見した。

「使途について」の協議では、入湯税を負担する旅館・ホテル等のお客様に納得していただくために、入湯税の引上げ部分の使途として適当な基本原則を決める作業を行った。各委員等より発言された考えられる使途を類型化し5つの基本原則として整理し、また、入湯税の使途としてはふさわしくない事業についても以下のとおり整理した。

（1）引上げ部分の基本的な使途を以下の5つの柱とする。

- ①温泉資源の保護、確保
- ②観光客の快適性確保（ストレスフリー）
- ③観光客の安全・安心の確保
- ④観光客を増加させるための事業推進（魅力あふれる温泉地づくり）
- ⑤観光客の受入体制の充実

■①温泉資源の保護、確保

- ・入湯税は入湯客からいただくという観点から、観光客や市民の参画によるシチズンサイエンスによる研究活動は、自身が参加して別府温泉の保護等に貢献していると思えることから納得が得られやすい。

■②観光客の快適性確保（ストレスフリー）

- ・ストレスフリーは、「どこでも必要な情報が手に入る」、「キャッシュレスの対応」、「移動のための二次交通（主要駅・空港と観光地を結ぶ交通アクセス）の整備」の3つに分類されるが、お客さまの満足度を引き上げることにがるので引上げ部分の使途として相応しい。
- ・インバウンド対策については、留学生の声を広く聴き取り密度の濃いものとしてほしい。

■③観光客の安全・安心の確保

- サモアの留学生は国の文化としてタトゥーを入れているが、そのために温泉に入れないという話を聞いている。温泉を使う市民の理解を得るためにタトゥーの文化についても議論が必要と思う。
- 駅の案内所でよく車椅子・ベビーカーのレンタルを聞かれる。各施設内での貸出はあるがレンタサイクルのように施設外で使えるようなサービスができたらと考える。全国的には三重県や沖縄県にはバリアフリーのツアーセンターがあり、情報発信、器材（車椅子等）のレンタル、ツアー企画等を行っている。

■④観光客を増加させるための事業推進（魅力あふれる温泉地づくり）

- 別府はたいへん魅力がある。ただし、魅力を工夫して伝える仕組みが不足している

■⑤観光客の受入体制の充実

- 別府が恵まれている部分をさらに活かしていくため、留学生と行政と産業が連携し、多くの留学生が活躍できる環境整備を行う。
- 観光産業での雇用対策、人材確保のために、留学生の就労時間に係る特区申請を観光関係団体と協力をして行うことも良いのではないか。

■全体について

- 使途はゾーンごとに計画的に目標を策定し、最終目標のゴールを設定する。
- 使途として、これは投資（施設整備等）なのか費用（施設運営等）なのかを明確にして、優先的にどの用途に使用していくことが適切なのかを意識することが大切と考える。

【京都市の事例】

宿泊税を財源として充実・強化する取組

- 30年度の宿泊税充当事業は「市民、観光客、観光関係事業者が30年度に宿泊税の導入効果を実感できる」取組に充当
- とりわけ「現下の観光課題を早急に解消し、市民生活との調和を図る取組」に優先して充当

①混雑対策

京都市を訪れる観光客が一部観光地に集中し、観光地周辺や公共交通機関の混雑につながっているため、これらの課題を解消するための取組を充実・強化

<具体的な取組>

- 観光地等の混雑緩和に向けて、手ぶら観光の普及促進や観光案内標識の設置・改良等の取組を推進
- 観光客の3つの集中（場所・時間・季節）の緩和に向けた取組を強化
朝観光・夜観光の推進、新たな観光資源（隠れた名所）の発掘・PRなど
- 公共交通機関の更なる有効活用や混雑緩和等に向けて、ビッグデータ等を活用した交通流動実態調査を実施
- 市バス等の公共交通機関の混雑緩和の取組を強化
「前乗り後降り」方式の導入による乗降時間の短縮

充当額

5億円

②民泊対策

昨今、急増している民泊については、利用者の騒音やごみ投棄などにより、周辺地域の市民生活に影響が生じており、違法・不適切な民泊の通報・監視・指導等の体制を強化

<具体的な取組>

- 違法・不適切な民泊に対する指導の強化
民泊通報・相談窓口 体制強化やアドバイザー派遣の新設
現地調査員（見回り部隊） 4人体制からの倍増を予定
- 民泊等に対して「消防検査済表示制度」を創設するなど、宿泊者及び周辺住民の安心・安全を確保

充当額

1.5
億円

③宿泊事業者支援

宿泊税の導入にあたっては、宿泊事業者の協力が不可欠であり、宿泊事業者への負担軽減策や経営強化に向けた支援策を実施

<具体的な取組>

- 宿泊税の導入を踏まえ、宿泊事業者が円滑に事務を行えるよう個別相談会・セミナーを実施
- 旅館等の経営力強化や魅力発信に向けた取組を支援
- 宿泊事業者への事務補助金の創設（31年度から交付）
前年度の特別徴収額の2.5%（当初5年間は3%）を補助金として交付

充当額

0.5
億円

経費規模 1億4,000万円

事業経費 37 億円
うち充当額 19 億円

④受入環境整備

外国人をはじめとする観光客等の増加により、観光インフラの整備（利便施設の多言語化、観光トイレ等の拡充）や観光客のマナー対策などが課題となっており、これらの受入環境の整備により、市民生活の満足度も高めていく

<具体的な取組>

- 中国語など多言語での啓発記事や海外のWEBサイト、ガイドブック等での周知など外国人観光客のマナー啓発の取組を充実・強化
- 観光地周辺トイレの洋式化等による受入環境の整備・充実
観光トイレ 認定箇所数 38箇所→50箇所（⑩～⑪）
公衆トイレ 洋式便器設置率 100%達成（⑩～⑪）でリニューアルを実施
公園・駐車場トイレ 洋式化・清掃回数増
- 京都観光オフィシャルサイトの機能強化
京都の奥深い魅力だけでなく、観光地の分散化やマナー啓発（京都の生活スタイル・習慣）などの記事コンテンツも充実

充当額

4 億円

⑤京都ならではの文化振興・美しい景観の保全

京都に蓄積された日本の歴史・文化、これらが織りなす景観を次の世代にしっかりと引き継ぎながら、京都の都市の品格、魅力を一層向上させる施策を推進

京都ならではの文化振興（文化資源の継承・担い手育成）

<具体的な取組>

- 京町家を将来の世代に継承していくための取組を充実・強化
重要京町家・京町家保全重点取組地区の京町家の改修助成制度の創設
市が借り上げた京町家を、民間を通じて流通させる賃貸モデル事業の実施
新築の京町家の普及促進（新築京町家の基準の検討）
- 子どもたちが文化芸術に触れる機会を創出し、京都の文化力・おもてなし力の向上を推進
- 京都伝統産業ふれあい館のリニューアル（⑩～⑪の2箇年で実施）

充当額

6 億円

京都ならではの美しい景観の保全

<具体的な取組>

- 無電柱化事業の推進
先斗町通，銀閣寺道，長辻通

充当額

2 億円

【徴税コスト（システム改修等）】

【太宰府市の事例】

単位：千円

事業名	事業費	充当額	平成29年度事業概要
太宰府ブランド創造協議会事業	3,000	3,000	①太宰府の歴史的文化的遺産等の素晴らしさを引き出す取り組みとして“光”のイベント「太宰府古都の光」を実施。 ②まち全体に「和の風情」とおもてなし意識を波及させるため、歴史、文化、観光情報等の魅力発信事業、また来訪者への“もてなし”事業を実施。
史跡地ライトアップ事業	2,177	2,177	水城跡西側、日吉神社等の史跡地のライトアップを実施。
史跡地保存活用整備事業	11,552	4,032	水城跡西門西側の樹木整理工事を実施。平成30年度に向けて、水城跡西門西側園路周辺での整備工事に伴う実施設計を行う。
史跡地保存管理事業	39,836	9,959	①史跡地内の草刈・清掃管理 ②史跡地トイレ9箇所の維持管理費（清掃料、電気代、上下水道代、汲取料）
太宰府子どもじまん認定事業	626	626	NPO法人が作成した「太宰府子どもじまん認定問題集」とその「解説書」を購入し、市内小学校6年生全員の授業に活用。
まるごと太宰府歴史展事業	1,000	1,000	「まるごと太宰府歴史展2017」を開催。平成29年度のトピックとして、新たな太宰府市指定文化財の紹介等を実施。
歴史的風致維持向上計画関連事業	17,694	4,491	①どんかん道・日田街道・参詣道・歴史の散歩道サイン整備事業 ・老朽化した誘導サインの改修 ②歴史的風致形成建造物保存修理事業 ・明治期の土蔵1軒、及び大正期の歴史的風致形成建造物2軒の保存修理等
臨時駐車場設置事業	2,101	1,844	正月三が日に市内5か所に臨時駐車場を設置。また安全でわかりやすく誘導するための表示案内板等を設置。
仮設トイレ設置事業	1,075	1,075	正月三が日に市内6か所に臨時トイレを設置。
門前町美化推進事業	640	640	12月31日から1月4日まで、太宰府駅前広場、天満宮参道及び周辺道路の美化作業を実施。毎年、観光協会と合同で、年末年始にゴミを収集。
幹線道路周辺美化推進事業	2,278	2,278	幹線道路周辺美化作業を実施。 4月～3月（7路線）のべ作業距離約160km
街路樹整備事業	5,508	5,508	①御笠川沿い街路樹整備剪定、草取り、消毒、施肥を実施。 ②国道3号線側道樹木管理剪定、植樹帯草取り、消毒、散水を実施。
観光案内サイン整備事業	4,432	4,432	太宰府市歴史観光系公共案内サインガイドラインに基づき、案内サインの整備等を実施。（4か国語表記）

事業名	事業費	充当額	平成29年度事業概要
観光情報整備事業	1,095	1,095	観光PRパンフレットを増刷。 日本語版 88,000部、韓国語版 50,000部、 中国語 20,000部、台湾語版 20,000部、 英語版 10,000部
門前町フラッグ等掲出事業	863	863	PRフラッグを作成し、太宰府天満宮参道 19箇所に掲出（外国語表記を含む）
観光客滞留時間等調査事業	1,377	1,377	①属性調査 日本人観光客、外国人観光客、 観光客ではない一般人をカウント ②国籍調査 外国人に国名聞き取り調査
観光客向けWi-Fi整備事業	5,764	5,764	①大野城跡、文化ふれあい館、水城跡東門に Wi-Fi環境を新設。 ②太宰府天満宮社務所周辺のアクセスポイント を高出力に改修。
自転車等の利便性向上	774	774	西日本鉄道が実施するレンタサイクル事業の 運営に協力し、レンタサイクルの乗り捨てに伴 う駅間における自転車の運搬業務に要する費用 及び電動アシスト自転車の管理運営費並びにレ ンタサイクル利用促進のためのPR等を補助。
駐車場待ち車両の抑制	4,403	4,403	太宰府天満宮大駐車場等の満空情報及び市内 各所に配置しているライブカメラによる道路状 況をホームページにて配信。特に年末年始に満 空情報を配信する駐車場の箇所を増やし、渋滞 緩和、公共交通機関の利用促進等を図った。
交差点交通誘導警備	4,669	4,669	年末年始、行楽シーズン等に交通指導員を配置。
花いっぱい運動推進事業	1,555	1,555	①菜の花、コスモスの栽培（水城跡、観世音寺周辺） ②蕎麦（そば）の花の栽培（蔵司西側周辺）
施設整備・改修補助金	6,090	6,090	太宰府市観光駐車場協会へ補助金交付
事務費	1,874	1,874	①歴史と文化の環境税運営協議会委員報酬・ 費用弁償 ②歴史と文化の環境税領収書の印刷 ③幹線道路周辺美化推進事業を実施する際に 使用する啓発のぼりを補充
駐車場案内システムVICS機能構築	1,798	1,798	カーナビゲーション上でも満空情報を確認で きるよう、12月下旬からVICSへの配信を 開始。
地域交通網形成計画策定事業	14,883	7,863	1 対象地区：西鉄太宰府線沿線地域 ①交通実態調査 ②交通施設整備方針の検討 ③将来交通量の推計 ④都市計画道路網の検討 2 総合交通計画協議会の開催 3 地域公共交通網形成計画策定準備
クルーズ船観光客対策事業	22	22	太宰府天満宮駐車センタートイレ等におい て、トイレの利用状況及び待ち状況カウント 調査、外国人観光客へのトイレ利用アンケ ート調査を実施。
合計	137,086	79,209	